

Azure BlobのIncomingインテグレーション

概要

WalkMeとAzure BlobのIncomingインテグレーションにより、Azureからデータをインポートするシームレスな方法が提供され、高度なパーソナライゼーションと自動アップデートによってユーザーエクスペリエンスが大幅に向上します。

この統合により、Azureからさまざまな属性を取得でき、高度にカスタマイズされたコンテンツを作成できます。Azureのこれらのアトリビュートの更新はWalkMeと自動的に同期され、手動で更新することなく、コンテンツが常に適切でニーズに合わせて調整されます。



Azure Blob to WalkMe

Azure BlobとのIncomingインテグレーションのセットアップ

ステップ1：ソースを作成する

最初のステップは、Azure Blobでソースを作成することです。つまり、ファイルがWalkMeによって受信される場所からです。

このステップは、新しい統合を追加するときに、ステップ2中にも実行できます。

入力するために必要な情報：

- **ソース名**：ファイルソースの場所を認識する名前
- **アカウント名**：Azure Blobの関連するストレージアカウントの名前
- **コンテナ名**：Azure Blobのストレージアカウント内の関連するコンテナの名前

- 認証方法 Azure Blobストレージにアクセスする際、ユーザーまたはシステムの識別を確認する安全な認証方法
 - SAS (共有アクセス署名) トークンを選択すると、以下の入力プロモットされます。
 - SASトークン=関連するストレージアカウントのために生成されたSASトークン
 - Microsoft エントラIDが選択されている場合、以下のものを入力するためにプロモットされます。
 - クライアントID = 認証プロセス中に認識するためにAzure のアクティブディレクトリによってアプリケーションに割り当てられた一意の識別子
 - クライアントシークレット=クライアントIDと組み合わせてAzure ActiveDirectoryに自分自身を認証するためにアプリケーションで使用される機密キーまたはパスワード
 - テナントID=組織の Azure Active Directoryのインスタンスの一意の識別子で、アプリケーションが登録され、認証されたディレクトリを指定します

**「コンテナパス」は、オプションのフィールドです。

×

Esc

Create New Azure Blob Source

Source Name

Enter source name

Account Name

Enter your account name

Container Name

Enter container name

Optional Container Path

e.g. folder/nested-folder

Authentication Method

SAS Token

SAS Token

SAS Token

TEST

SAVE

ステップ2：新しい統合を追加する

新しい統合を追加することは、3つの簡単なステップで完了できます。

1. **ソースの設定** → ドロップダウンからソースを選択するか、ステップ1の説明に従って新しいソースを作成する
 - さらに、パスとファイル名を入力する
2. **地図コラム** → Azure BlobとWalkMeの間のデータ同期を確立する一意のユーザーIDを選択する
 - 次に、WalkMeにインポートしたいプロパティを選択し、それらがそれぞれのプロパティタイプ（文字列、数値、ブーリアンなど）に正しくマッピングされていることを確認する
 - 必要であれば、この段階でプロパティの名前を変更することもできます。
3. **スケジュールと保存** → 統合の名前を指定し、指定した間隔で実行するようにスケジュールするかどうかを決定する
 - 「保存」をクリックすると、新しい連動が生成されます。リクエストに応じて手動で実行するか、定義された間隔で自動実行のために設定するかを選択できる

Create New Azure Blob Integration

1
Set Source

2
Map Columns

3
Schedule & Save

Set Source

Choose source...

Path & File Name

e.g. your/path/filename.csv

CONTINUE >

Microsoft AzureアカウントとBlobコンテナを設定する

Microsoft Azureにサインアップ

1. Microsoft Azureのウェブサイトに移動します
2. 新しいAzureアカウントを作成するには、「**無料で開始**」または「**サインアップ**」をクリックしてください

ストレージアカウントを作成する

1. Azureアカウントを取得したらAzureポータルにログインします
2. 「リソースの作成」をクリックし、「**ストレージアカウント**」を検索する
3. プロンプトに従って、新しいストレージアカウントを作成します
4. ストレージアカウントの一意の名前を選択し、必要に応じてその他の設定を構成します

Blobコンテナを作成する

1. ストレージアカウントを作成したらAzureポータルで開きます
2. 左側のメニューの「**データストレージ**」で「**コンテナ**」をクリックする
3. 「+コンテナ」をクリックして、新しいコンテナを作成する
4. コンテナの一意の名前を選択し、アクセスレベル設定を構成し、コンテナを作成します

認証方法

SAS(共有アクセス署名) トークンを作成する

Azure Blobストレージとやり取りするには、共有アクセス署名(SAS)トークンを生成する必要があります。

1. Azureポータルでストレージアカウントに移動し、「**セキュリティ + ネットワーク**」>「**共有アクセス署名**」を選択する
2. SASトークンの希望の権限、有効期限、その他の設定を構成します
3. 「**SASと接続文字列の生成**」をクリックする
4. 生成されたSASトークンと接続文字列をコピーして、コンテナにアクセスするためのサービスと共有します

推奨設定

- 許可されたサービス → Blob
- 許可されたリソースタイプ → オブジェクト
- 許可された権限 → 読み取り、書き込み、削除
- Blobのバージョンing権限 → 空のままにする
- 許可されたBlobインデックス権限 → 空のままにする
- 開始日と有効期限 → お客様の裁量に従う

- 許可されたIPアドレス → 空のままにする
- 許可されたプロトコル → HTTPSのみ
- 優先ルーティングレベル → 基本（デフォルト）
- サイニングキー → Key1